

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における
木材利用等に関するワーキングチーム（第4回）

議事概要

1. 日時：平成30年1月25日（木）14：30～15：15
2. 場所：合同庁舎8号館4階 416会議室
3. 出席者：

平田 竹男	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長
多田 健一郎	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官 <座長>
羽山 眞一	内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室審議官
藤江 陽子	スポーツ庁審議官
鈴木 良典	農林水産省大臣官房生産振興審議官（兼生産局）
渡邊 毅	林野庁林政部長
尾崎 俊文	国土交通省大臣官房審議官（官庁営繕）
山口 敏彦	国土交通省大臣官房審議官（住宅）
小野寺 弘樹	東京都財務局オリンピック・パラリンピック施設整備担当部長
草野 智文	東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設整備担当部長
朝山 勉	東京都オリンピック・パラリンピック準備局選手村担当部長
武田 直克	東京都産業労働局安全安心・地産地消推進担当部長
福島 七郎	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局長
望月 禎	独立行政法人日本スポーツ振興センター理事
下野 浩史	独立行政法人日本スポーツ振興センター総括役

<事務局>

- | | |
|-------|--|
| 勝野 美江 | 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官 |
| 猪島 康浩 | 林野庁木材産業課長 |

4. 議事要旨

- ・平田内閣官房オリパラ事務局長より挨拶。

【平田局長】

オリンピック・パラリンピックは、「日本らしさ」として、木材によって日本を発信することを非常に重要にしている。皆様の御協力があって、CLTを使うことや、林業活性化、地方創生を睨みながら、新国立競技場や各種オリパラ施設において木材利用が相当に進んだと認識している。私は地方の県庁や林業の方とお会いすることが多いが、皆様が2020年を我がことのように思っていて、そのことをとても心強く思っている。オリパラ関連施設の整備主体のJSC、東

京都、組織委員会においては、ここまで木材利用を検討して頂いたことに改めて感謝する。引き続き、調度品、家具などの備品類においても、コスト面も含めて適材適所の考え方の下、木材を最大限利用する方向で進めていただきたいと考えている。本ワーキングチームを通じて、省庁・関係機関が一致連携して、なお一層の木材利用が図られ、「日本らしさ」を世界に発信することが進むことを祈念している。

・各構成員から資料1から7に基づき、「各機関からの情報提供について」を報告。

・意見交換

【内閣官房オリパラ事務局長】

オリパラの動き以外で、民間や公共建築物について、全国の木材利用はどのように進んでいるのか。

【林野庁林政部長】

例えば、ウッドデザイン賞等において、地域の木材をふんだんに利用して全面改修した駅舎が入選作品となるなど、木材利用は民間においても推進いただいている。パリ協定の発効もあり、各企業とも木材利用に積極的になってきていると感じている。

【内閣官房オリパラ事務局長】

オリパラ施設においてのみ木材利用が進むのではなく、日本全体で木材利用が進むことがレガシーである。このワーキングチームでは、全体的な木材利用の動きについても取り扱ってほしい。

【オリパラ事務局企画・推進統括官】

住宅に関して、木材利用が拡充する法改正が予定されていると聞いているが、概要について説明してほしい。

【国土交通省大臣官房審議官（住宅）】

防火関係の規制見直しを考えている。外側の耐火性能を厳しくすることで、内装において木材を「あらわし」で使用できるようにする。防火地域・準防火地域では、一定時間燃えないことが求められるが、木材であっても、燃えしろ設計などで一定基準の性能があるものは使用可能にする内容の法改正を通常国会に提出する予定である。

【内閣官房オリパラ事務局長】

木造の3階建てが可能になるのか。

【国土交通省大臣官房審議官（住宅）】

木造3階建ては現在でも建築可能である。高さ16m超、4階建てについても、一定の厳しい

条件の下では、木材が使えるようになる。

【オリパラ事務局企画・推進統括官】

林野庁資料に漆があるが、木材利用とともに木材に関わる産業の方々から、日本の文化として、地場産業製品をオリパラに使うって欲しいという要望がある。コストの関係はあるが、木材にプラスして木材に関わる文化の産業の活用についても検討いただきたい。

・閉会